慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	三田史学会例会
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1910
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.4, No.6 (1910. 12) ,p.736(132)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	三田学会記事
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19101200-0132

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

學三十二番講堂に於て開催せられ教授川合貞一氏の開會之辭に次ぎ教授小山内薰氏は『無題』と題し藝術と變化、傳人と藝術等の問題に就て其感想を述べられ次に生田長江氏は『批評と創作』なる題下に藝術と人生との關係より説起し藝術の意義及び其獨立等の問題より批評論に入り眞に作物の價値を知り得る批評家はこれ又其作家たり得るの資格あるものなりと述べ批評最後の標的は創作を全然超越する所に至るにあり批評の尊嚴は又實に茲に存すと結ばれたり次に教授戸川秋骨氏は『古典文學と現代文學』と題し文學の基礎を古典文學に取らんか將た又現代文學に取らんとするかは此迄絶えざる所の論爭なるが然し一方のみを尊重して他方を排斥せんとするは共に其言緊を得たるものに非ずとの前提より近代文學は科學を基礎とする近代社會の產物なるを以て直に斥くるは誤れり然し吾人は生慾問題、生活問題等を取扱ふ近代文學のみにては滿足することを得ず卽ち古典文學も必要なるものなり是れ恰も近代文學は滋養物の如きものにして古典文學は常食の如きものなり故に此兩者は共に必要なるものなりと述べ されど吾人は現代に生き居るものなるを以て現代の文學を主として進むは最も其宜を得たるものなるべしと結ばれたり最後に文科顧問上田敏氏は『新時代の詩人』と題し新人と當人との區別より説起して新藝術の意義特色に及びそれより歐洲思潮の集合地にしてマーテルリンクローデンバック、レルベルグ等の天才を輩出せるベルヂツクの文學に移り更にワロン文學の代表者たる一代の詩人エミールベルハーレンに就て彼が生立ちより今日に至る迄の經歷、作物等一々詳述せられ一方肉慾的なると共に他方頗る神祕的なる彼が詩は眞く其國民性を代表せるものなるが社會問題、生活問題を記載せざに非ずして感嘆したる彼の詩も亦實に彼が半生の憐憫たる努力の結果に外ならずと結ばれ教授馬場狐蝶氏の挨拶ありて五時半頃散會したりき因に當日は鎌田塾長を初め田中一貞、永井荷風、神戸彌作、廣瀨青波、小林乳木、澤木梢、與謝野鐵幹諸氏以下學生六百餘名の出席ありて非常の盛會を極めたり（お、あ）

三田史學會例會

同會第六回例會は去月廿九日午後二時半より慶應義塾大學廿四番講堂に於て開催せられ教授田中萃一郎氏の挨拶に次ぎ教授幸田成友氏は『日本版刻術の進歩に就て』と題し多年蓄積せる材料を持參せられて先づ日本人の出版せる古書目錄より説起し世界最古の印刷物たる法隆寺百萬塔中に藏せる經文を引き凡て各國古代の印刷物は宗教に關するものなりと述べ更に書籍發達の變遷に就き源平及び鎌倉時代の野山版、春日版、南北朝の五山版、境に於ける經書（承平十八年）醫書（天文年間）の覆刻、文祿役以來活字輸入後に於ける書籍刊行等の事より娯樂的出版物の發達に移り鎌倉時代以後の繪卷物、足利時代の御伽草子、德川時代の奈良繪本、公平本（きびら）、好色本、淨瑠璃本、芝居番附、役者評判記、赤本、黑本、黃表紙本、黑表紙本、コンニヤク本、等一々實物によりて説明せられ最後に暦、職員錄の沿革を述べて降壇せられ、それより小澤君（琉球に就て）稻垣教授（歐洲各國民の心性）の講演ある筈なりしも時間の都合上次會に延期したり、尙當日は福田博士を初め學生多數の出席ありて盛會なりき（お、あ）